



令和7年9月25日	
所 属	歴史博物館
所属長	門田 真由美
電 話	06-6489-9801

尼崎市歴史博物館第5回特別展「豊臣期の尼崎と建部氏三代」を開催

1 趣旨

本能寺の変後、「中国大返し」として知られる急行軍で備中高松から駆け戻った羽柴(豊臣)秀吉は明智光秀を討ち果たした後、天下人への道を足早に進め、ついには天下統一を成し遂げました。この時期、尼崎で周辺地域の豊臣氏直轄領を管轄していたのが建部寿得(寿徳、一甫)です。近江出身で本能寺の変後に秀吉に仕えた寿得は若狭から尼崎に移り、戦役での兵馬・兵糧の調達・搬送、太閤検地や寺社造営の奉行など、軍備・内政で手腕を発揮し豊臣政権を支えました。寿得の没後、その職務は子の光重、孫の政長が継承し大坂の陣を迎えます。若年の政長は親族池田(下間)重利とともに徳川方として尼崎城を堅守し、陣後、その功績によって1万石を給付され初代尼崎藩主となりますが、2年後に播磨国林田(現姫路市)に転封となりました。

建部氏三代が尼崎を拠点に活動していたのは安土桃山時代後半から江戸時代初期にかけての約30年間です。この間、尼崎は中世以来の港湾を中心として発達した流通・経済都市から、新城と城下町が整備された軍事・政治都市へと変貌を遂げましたが、藩主在任わずかでの転出したこともあって、建部氏の足跡は尼崎にほとんど残っておらず、事績についてもあまり知られていません。

そこで、これまで注目されてこなかった建部氏三代の足跡や事績を中心に、中世から近世への移行期にあたる豊臣期の尼崎の激動の歴史を振り返ります。

2 概要

(1) 会期・時間・休館日

会 期：令和7(2025)年10月1日(水)から11月30日(日)まで

開館時間：午前9時～午後5時(入館は午後4時半まで)

休 館 日：月曜日(ただし祝日の場合は開館し、直後の平日が休館)

※会期中は10月13日(月・祝)開館し、10月14日(火)休館・11月3日(月・祝)開館し、11月4日(火)休館・11月24日(月・祝)開館し、11月25日(火)休館

(2) 会場

尼崎市立歴史博物館 3階 企画展示室・展示学習室

所在地：尼崎市南城内10番地の2

(3) 展示資料

内容については、別紙参照

3 担当

歴史博物館 担当学芸員 楞野一裕

以 上

第5回特別展

豊臣期の 尼崎の 建部氏二代

亦座槇嶋兩人會
不擒今井家旗
尼崎請渡海船
衣裡怪堅門戸不
將憎市正太郎兵
中崎一揆托村王右近
軍士於神崎金防

令和7年(2025)

10.1水 —
11.30日

開館時間 午前9時～午後5時

※入館は午後4時30分まで

休館日 月曜日

(ただし祝日の場合は開館し、直後の平日が休館)

会場 尼崎市立歴史博物館 3階
企画展示室・展示学習室

観覧料金 無料



電車・バス ▶ 「阪神尼崎駅」

南口から南東へ徒歩10分

車 ▶ 玉江橋線開明橋

交差点から東へ約500m

隣接する市立城内駐車場

(有料)をご利用ください



尼崎市立歴史博物館
AMAGASAKI CITY MUSEUM OF HISTORY

〒660-0825 兵庫県尼崎市南城内10番地の2

電話 06-6489-9801

(歴史博物館 文化財担当)

FAX 06-6489-9800



- ① 豊臣秀吉朱印状 天正14年10月4日付 堀田三左衛門尉宛(当館蔵)
② 洛中洛外図屏風・尼崎本 左隻(部分) ③ 慶長十九年大坂冬陣図 部分(当館蔵)
④ 芳年 真徳久吉公名源屋洋先手碁将模出之図(当館蔵)
⑤ 豊臣秀次朱印状 卯月13日付 石川久五郎宛(当館蔵)
⑥ 大坂陣陣之記(当館蔵) ⑦ 中山寺太子堂銅製開口(同寺蔵)
⑧ 金華山寺庭宝珠(同寺蔵) ⑨ 同寺蔵

尼崎市立歴史博物館 第5回特別展

本能寺の変後、「中国大返し」として知られる急行軍で備中高松から駆け戻った羽柴(豊臣)秀吉は明智光秀を討ち果たした後、天下人への道を足早に進め、ついには天下統一を成し遂げました。この時期、尼崎で周辺地域の豊臣氏直轄領を管轄していたのが建部寿得(寿徳、一甫)です。近江出身で本能寺の変後に秀吉に仕えた寿得は若狭から尼崎に移り、戦役での兵馬・兵糧の調達・搬送、太閤検地や寺社造営の奉行など、軍備・内政で手腕を発揮し豊臣政権を支えました。寿得の没後、その職務は子の光重、孫の政長が継承し大坂の陣を迎えます。若年の政長は親族池田(下間)重利とともに徳川方として尼崎城を堅守し、陣後、その功績によって1万石を給付され初代尼崎藩主となりますが、2年後に播磨国林田(現姫路市)に転封となりました。

建部氏三代が尼崎を拠点に活動していたのは安土桃山時代後半から江戸時代初期にかけての約30年間です。この間、尼崎は中世以来の港湾を中心として発達した流通・経済都市から、新城と城下町が整備された軍事・政治都市へと変貌を遂げましたが、藩主在任わずかであることもあって、建部氏の足跡は尼崎にほとんど残っておらず、事績についてもあまり知られていません。

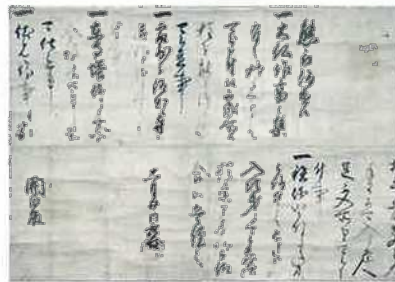
そこで、これまで注目されてこなかった建部氏三代の足跡や事績を中心に、中世から近世への移行期にあたる豊臣期の尼崎の激動の歴史を振り返ります。



中山寺太子堂銅製鋳口・部分(同寺蔵)



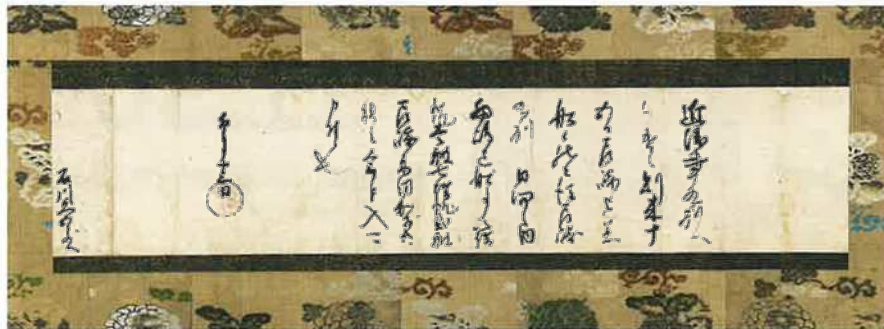
金峯山寺擬宝珠(旧吉野大橋擬宝珠)部分(同寺蔵)



豊臣秀吉朱印状 11月20日付 関白宛(大阪城天守閣蔵)



豊臣秀吉朱印状 10月8日付 建部寿得軒他2名宛(当館蔵)



豊臣秀次朱印状 卯月13日付 石川久五郎宛(当館蔵)



洛中洛外図屏風・尼崎本 左隻部分 聚楽第(当館蔵)

特別展記念講演会

「豊臣政権と尼崎」

日 時：11月16日(日) 午後2時～4時
講 師：谷 徹也氏(立命館大学文学部教授)
会 場：尼崎市立歴史博物館 3階 講座室
定 員：80名 受講料：無料
申 込：11月5日(水)から電話・FAXで先着順に受付開始

水曜歴史講座

I「建部氏と豊臣氏の寺社造営」

日 時：10月8日(水) 午後2時～4時
講 師：楞野一裕(当館学芸員)
会 場：尼崎市立歴史博物館 3階 講座室
定 員：80名 受講料：無料
申 込：事前申込不要(先着順)

II「元和築城以前の尼崎城」

日 時：11月12日(水) 午後2時～4時
講 師：楞野一裕(当館学芸員)
会 場：尼崎市立歴史博物館 3階 講座室
定 員：80名 受講料：無料
申 込：事前申込不要(先着順)

ワークショップ 一人形劇

ペープサート「秀吉危機一髪」

尼崎の秀吉伝説を当館のれぎし体験学習ボランティアがペープサート(うちわ型人形劇)で紹介します。
日 時：11月8日(土) 午後3時～4時
会 場：尼崎市立歴史博物館 3階 講座室
定 員：20名 参加料：無料
申 込：事前申込不要(先着順)

歴史ウォーク

秀吉が駆け抜けた道を歩く

本能寺の変後、備中高松から急行軍で戻ってきた秀吉の中国大返しの推定ルートを歩きます。
日 時：10月25日(土) 午後1時～4時
集 合：阪神電車武庫川駅東口 解 散：尼崎市立歴史博物館
定 員：30名 参加料：無料(別途保険料が必要)
申 込：10月5日(日)から電話・FAXで先着順に受付開始

ギャラリートーク

担当学芸員が展示会場で展示解説を行います。
日 時：10月11日(土)、19日(日)、11月1日(土)、8日(土)、22日(土)
各日午後2時～午後3時
会 場：尼崎市立歴史博物館 3階 企画展示室・展示学習室
定 員：各20名 参加料：無料
申 込：事前申込不要(先着順)